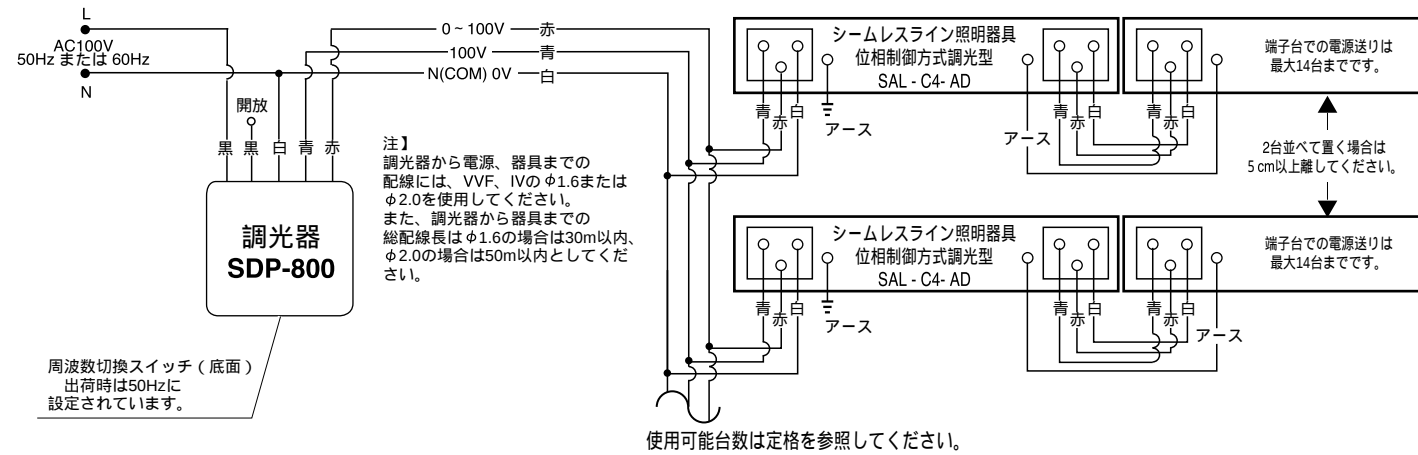
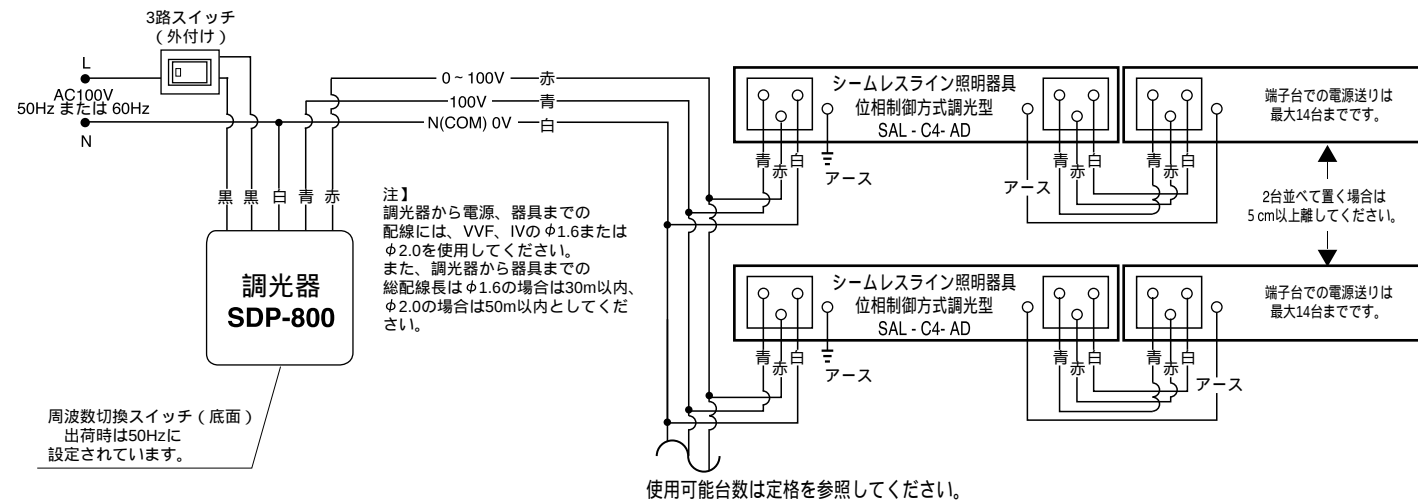


● 本体スイッチのみを使用する場合



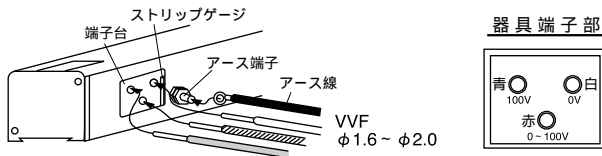
● 3路スイッチ(別売)を使用する場合



シームレスライン照明器具/位相制御方式調光型への電源ケーブルの接続

- 電源ケーブルはVVF φ1.6またはφ2.0を使用し、端子台のストリップゲージに合わせ、芯線を12mmストリップしてください。電源の送りにもVVF φ1.6またはφ2.0を使用してください。最大14灯まで取り付け出来ます。
- 芯線が止まるまで確実に端子台へ差し込み、1本づつ接続の確認をしてください。
- 調光器から照明器具までの総配線長は、VVF、IV φ1.6を使用する場合30m以下、VVF、IV φ2.0を使用する場合50m以下としてください。

リセット機能はありません。やむをえず電線をはずす場合は、1本づつ一定方向に回しながら引き抜いてください。



注】ストリップしすぎると芯線が金属に接触し、感電、漏電の原因となる場合があります。シームレスライン照明器具/位相制御方式調光型以外の器具には接続しないでください。

良好な調光を行うためのシームレスラインの組み合わせ

シームレスラインの組合せ例		調光具合
同一長さのシームレスライン	調光器 → SAL-C4-1500AD → SAL-C4-1500AD	良好な調光がおこなえます。
長さの異なるシームレスライン	調光器 → SAL-C4-1500AD → SAL-C4-550AD	ロータリーツマミをONにした時、短いランプが若干先に点灯します。SAL-CW1500ADは他のサイズに比べ、調光下限レベルで若干暗くなります。

電源の供給

- 全ての作業が完了したら電源を入れ、ランプが点灯・調光することを確認してください。
- 推奨調光範囲は25%～100%です。
- 電源のOFFはスイッチでおこなってください。ロータリーツマミでは電源がOFFになりません。

《誤配線の場合は次の現象が発生しやすくなります。》

- 調光できない。
- ランプの両端がすぐ黒くなる。

上記の現象の場合、電源を切って配線を確認し、配線しなおしてください。

NIPPO
ニッポ電機株式会社

シームレスラインランプ用一体型調光器

SDP-800 (位相制御方式)
(100V, 50 / 60Hz切換共用)

取扱説明書
保存用

お買い上げありがとうございました。ご使用前に必ずお読みください。
この説明書は取付工事が終わりましたら器具をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

05年4月10

NIPPO ニッポ電機株式会社

本社・工場 ☎ 0463-22-1946
札幌営業所 ☎ 011-824-5051
仙台営業所 ☎ 022-256-6301

城東営業所 ☎ 03-3829-0571
東京営業所 ☎ 03-5703-2181
名古屋営業所 ☎ 052-486-2600

大阪営業所 ☎ 06-6466-6701
広島営業所 ☎ 082-233-8211
福岡営業所 ☎ 092-524-1141

安全上の注意

警告	
●調光器の分解、改造は絶対にしないでください。感電の原因となります。	●取付工事やランプ交換や清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
●断熱材などで覆ったり、燃えやすいものに近づけないでください。調光器の故障や火災の原因となります。	●万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
●調光器に内蔵されている電子部品は、絶対に触れないでください。感電の原因となります。	●取付工事は、取扱説明書にしたがって確実におこなってください。確実に取り付けしないと、火災、感電、ケガの原因となります。
●調光器の隙間などに、金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。	●電源を接続する際は、取扱説明書にしたがって確実におこなってください。接続が不完全ですと、接触不良により火災の原因となります。
注意	
●電源電圧は、定格電圧±6%以内で使用してください。電源電圧が低いとランプが点灯しません。高いと電子部品が過熱し発煙、発火の原因となることがあります。	●粉塵の多いところでは使用しないでください。接触不良により、発煙、発火の原因となることがあります。
●屋内用調光器ですので、屋外では使用しないでください。屋外で使用すると感電、火災の原因となることがあります。	●電線の接続点や調光器の口出線には、張力を加えないでください。接続部での断線、絶縁破壊、接触不良による発熱などの原因となることがあります。
●引火する危険性の雰囲気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。火災や爆発の原因となることがあります。	●標準使用条件で8～10年経過した調光器は絶縁性能が低下していますので使用しないでください。そのまま使用しますと火災の原因となることがあります。
●雨や水滴のかかる状態や湿度の高いところでは使用しないでください。漏電や破損の原因となることがあります。	●電線が調光器本体の端子に触れないよう余裕をもたせてください。ケースの端子部で絶縁被覆を傷つけ、絶縁破壊による漏電、感電などの原因となることがあります。
●酸などの腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。漏電や落下の原因となることがあります。	

ご使用上の注意

- 取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- 調光器、器具は5～40℃の温度範囲で使用してください。周囲温度が低温または高温の場合、ランプ不点灯やチラツキの原因となることがあります。
- 調光時のランプ明るさのバラツキを少なくするため、同一長さの器具をご使用されることをおすすめします。
- 電源のOFFはスイッチでおこなってください。ロータリーツマミでは電源がOFFになりません。
- 電源波形が歪んでゆらいでいる場合には、ランプにチラツキを生じることがあります。また、調光下限25%付近ではランプの放電が不安定となるため、チラツキとして感じる場合があります。

- 長時間消灯する際は、本体のスイッチにより電源を切ってください。また、本体のスイッチで高頻度の点滅をしますと、ランプが短寿命になります。1日3回程度としてください。
- 長期間使用しない場合は、部屋の湿度により絶縁が悪くなる場合がありますので、部屋の換気をおこなうか定期的に通電してください。
- 調光器を清掃の際は、シンナーやベンジンなどの溶剤は使用しないでください。水または中性洗剤を湿した柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 調光器の近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。

調光設備の設計・施工上のご注意

ニッポ調光システムを正しくご使用いただくため以下のことをお守りください。

- 電源は別電源としてください。白熱灯調光や動力用と兼用しますと、照明負荷のチラツキになります。
- 取付前に本体底面にある周波数切換スイッチを使用する地域の周波数に必ずセットしてください。調光不能、安定器故障の原因となります。出荷時は50Hzに設定されています。
- 調光器を2台以上並べて設置する場合は、相互の熱影響を受けますので、上下方向10cm以上、左右方向5cm以上離してください。
- 工事終了後、ソケットのランプ口金ピン受け金間に調光点滅に関係なく、常時AC 8 V程度が出ていることをテスターで確認してください。AC 8 V程度が出てない状態ですとランプ短寿命の原因となります。
- 取付工事は電気設備技術基準第206、207条に準じておこなってください。

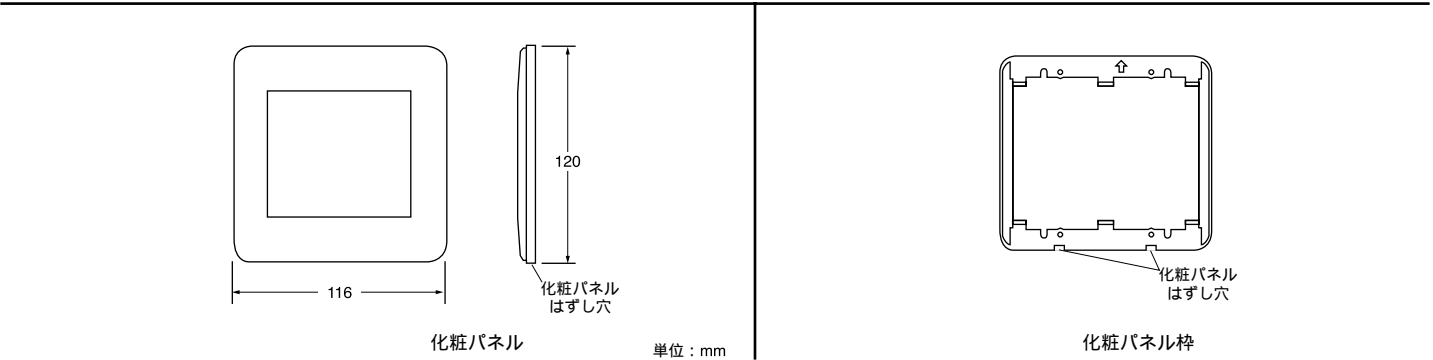
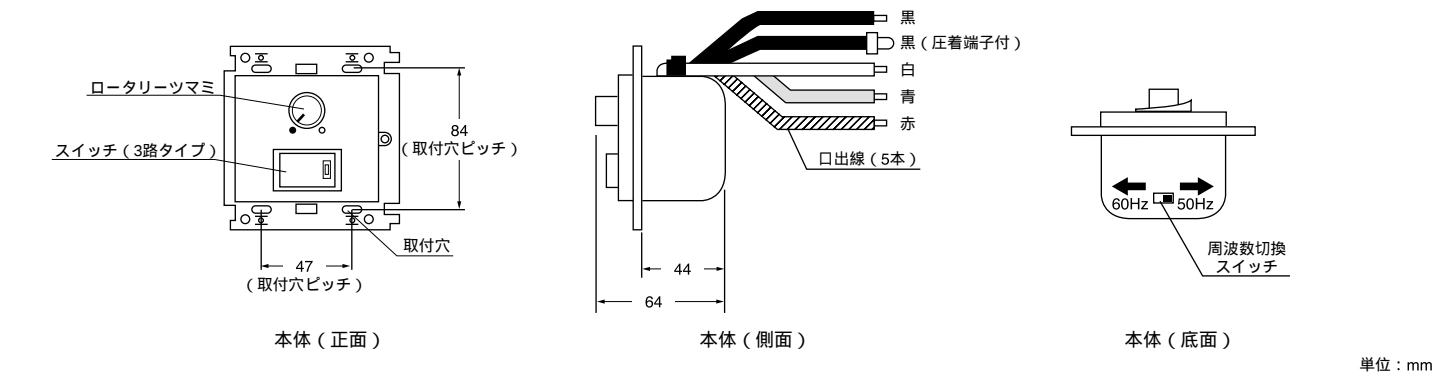
- 調光器から電源、器具までの配線には、VVF、IVのφ1.6またはφ2.0を使用してください。また、調光器から器具までの総配線長はφ1.6の場合は30m以内、φ2.0の場合は50m以内としてください。
- 電源を入れたまま調光器負荷側の白(共通線)・赤(調光線)リード線を短絡しますと調光器は一瞬で壊れますのでご注意ください。
- 雑音防止回路を内蔵していますが、周辺の音響機器などに雑音障害を及ぼすことがあります。なるべく他の音響機器とは離し(1m以上)、別回路の電源での使用をおすすめします。
- 定格容量以下で使用してください。
- この他、工事上の制約がありますので、取り付けに際しては電気設備技術基準に準じて施工してください。

調光設備の設計・施工上のご注意

ニッポ調光システムを正しくご使用いただくため以下のことをお守りください。

●主幹の電源線には電流量に見合った配線用遮断器と電線を使用してください。 ●電源変圧器は調光専用変圧器としてください。 動力用と兼用しますと電圧変動の影響を受けやすく、照明負荷のチラツキになります。また、音響用と兼用しますと雑音（ノイズ）の原因となります。（同一変圧器系に大容量の位相制御負荷がありますと、高調波や電源歪みが発生し、照明負荷のチラツキが起こります。） ●変圧器容量の概算容量は下式でもとめられます。 （10kVA以上の場合は別専用変圧器として、増設してください。） ・変圧器容量＝総負荷設備容量×需要率×余裕率 総負荷設備容量とは照明負荷容量の合計値。需要率は0.7～0.8。 余裕率は1.1～1.2が一般的な値ですが出来る限り大きい容量の変圧器を使用してください。	●幹線設備は極力太く、短くしてください。 ・調光装置は位相制御方式を採用しておりますので、配線が長いと配線インピーダンスの影響と中性線に歪波形の大電流が流れることにより、電流波形歪が発生し、照明負荷のチラツキの原因となります。 ●電源は中性線（N相）を持った以下の方式をご使用ください。 単相3線式／単相2線式／三相4線式 ●その他、調光する場合のご注意点 ニッポ調光システムはスムーズに調光出来るようにする為、常にランプフィラメントを予熱しています。ロータリーツマミで消灯させてもランプ両端のフィラメント部分がわずかに明るくなりますが異常ではありません。 長時間ご使用にならない場合は、必ずスイッチで電源を切ってください。
---	--

各部の名称と外形寸法



定格

項目 形式	入力電圧 (V)	周波数 (Hz)	定格容量 (A)	本体質量 (Kg)	適合照明器具	使用可能台数
SDP-800	100	50 / 60 切 換 共 用	8	0.35	シームレスライン照明器具 / 位相制御方式調光型 SAL-C4-□□AD (旧型：SAL-CW□□AD)	550サイズは22台まで
						850サイズは16台まで
						1000サイズは14台まで
						1250サイズは12台まで
						1500サイズは11台まで

・シームレスライン照明器具 / 位相制御方式調光型の詳細については各取扱説明書をご参照ください。
・調光時のランプ明るさのバラツキを少なくするため、同一長さの器具でご使用されることをおすすめします。

【注】シームレスライン照明器具 / 位相制御方式調光型の端子台での電源送りは最大14台までです。
14台を超える場合は、調光器から分岐してください。

取付方法

1. スイッチボックスの埋め込み
SDP-800を取り付けるために2個用スイッチボックスJIS C8340（深型）を壁に埋め込んでください。
2. 周波数の切り換え
本体底面にある周波数切換スイッチを使用する地域の周波数にセットしてください。出荷時は50Hzに設定されています。
3. 電源および器具への配線と結線
口出線を化粧パネル枠に通し、本体銘板の配線図に従って結線をおこなってください。
4. 本体の取り付け
化粧パネル枠を化粧パネルはずし穴を下にして本体に取り付け、2個用スイッチボックスに付属した取付ねじ4本で本体ごと固定してください。化粧パネルは化粧パネルはずし穴を下にして本体に取り付けてください。
5. 電源の供給
全ての作業が終わりましたら電源を入れ、ランプが点灯・調光することを確認してください。
推奨調光範囲は25%～100%です。
電源のOFFはスイッチでおこなってください。ロータリーツマミでは電源がOFFになりません。

